

## こんなことで困っています

聴覚障がいのある人には、耳が聞こえない人や、聞こえにくくて補聴器を使っている人もいます。手話だけでなく、残っている聴力や口の動き、表情を手がかりにスムーズなコミュニケーションを取ることが大切です。

### 外見だけでは気付いてもらえない

病院での呼び出しや人からの声掛けに気付かないことで「無視された」と誤解を招くことも。



### 周囲の状況が分からない

後方から自動車などが接近した場合の危険性も高くなります。



### 複数での会話が難しい

複数人で同時に話すと、相手の口の動きや表情が見えず、話の内容が理解できにくくなる場合があります。また、自分の思いも伝えられない場合があります。



## このマークを知っていますか



### 耳マーク

聴覚障がいのあることを示すマークです。



### ヘルプマーク

外見から分からなくても、援助や配慮を必要としています。



### 聴覚障害者標識

聴覚障がいにより運転免許に条件がある方が、運転する車に表示しています。



## 特集

# 手で伝える、見て伝わる手話

聴覚障がいのある人のコミュニケーションの一つに「手話」があります。耳の聞こえる人が声で会話するように、手話は手指や体の動き、表情などを目で見て会話する言語です。

また聴覚に障がいがあると、言っても、聞こえ方は違い、実際にどのような困りごとがあるかなど知らないことも多くあります。

聴覚障がいのある人が安心して暮らすために、どのようなことができるか考えてみましょう。

〒107-3926 東京都港区赤坂一丁目1番1階  
03-3439-2649

○田辺市手話言語条例を令和2年4月1日に施行  
手話が言語であるとの認識のもと、手話による意思疎通が図りやすい環境の整備を促進し、手話が必要とする方が安心して生活できる地域社会の実現をめざしています。

聴覚障がいによる困りごとや手話の重要性について、手話の普及活動を行っている愛瀬さんにお話を伺いました。

## 手話を広めたい



田辺市聴覚障害者協会  
会長 愛瀬 貞夫 さん

## 手話との出会い

私は高校生の時、野球の練習中に頭にボールが当たったことが原因で耳が聞こえづらくなり、何度か聞き直したり、声を掛けられても気付けないなど、辛い思いをしました。

そんな時に同じ障がいがある友人からの紹介で、手話を学び始めました。

## 苦労と工夫

手話によってコミュニケーションを取ることによって手話を使う人同士の

つながりができ、その中で妻と出会いました。子どもも授かりました。妻がろう者という事もあり、子どもの泣き声に気付けないなど子育てにはとても苦労しました。そのため、子どもの泣き声を感知し、振動するブザーや、人が訪れた時は、インターホンの代わりにライトが点滅することで気付けるようにするなど日常生活では様々な工夫をしていました。

## 手話だからこそ伝わる

今では条例で手話が言語として認められていますが、以前はろう学校では手話は禁止され、口の動きを読み取る口話法教育でした。しかし、口の形が同じ言葉は身振り手振りがなければ意味の判別が付きません。そうした意味を正確に伝えるためにも手話は必要です。

また、聴覚障がい者であってもそうでなくても、一人でも多くの人を手話を使えることで、コミュニケーションの輪が広がります。

※ろう者：重度の聴覚障がいのある人で、主に手話によってコミュニケーションを取る人

## 大切なのは気持ち

日常生活や働く中で、どのようなコミュニケーションを取っているでしょうか。手話を学ぶ浦さんと楠木さん、聴覚障がいのある人と一緒に働く松崎さんにお話を伺いました。

**少しでも手話を  
使ってみる**

以前から手話で話している人はとても魅力的に感じています。この講座で学べるのは本当にありがたいです。ある日、観光に来ていた方に筆談で話しかけられ、学んだ手話で会話をしました。少ししか話せませんでしたでしたが、とても喜んでくれ、その時の感動は忘れられません。保育所で働いているので、魅力ある手話を少しでも子どもたちとの遊びの中で教えていきたいです。(浦さん)



楠木 昌子さん 浦 くみさん  
手話奉仕員養成講座受講生

**指文字からコツコツと**

以前、手話で話しかけられたことがあり、その時は全く手話が分からず、とてもショックを受けました。今は手話を学びながら、まずは毎朝指文字を練習しています。新しい言語を学んでいくことで、世界が広がると感じています。学ぶことはとても楽しく、今後はサークルに参加するなどずっと手話を使い続けたいです。(楠木さん)

### 相手が何を伝えたいか 真剣に向き合う気持ち

私たちの事業所では、聴覚障がいのある人とは普段は口話で会話をしていますが、大切な内容は筆談で伝えていきます。朝礼では、話す人はゆっくり話し、もう一人がホワイトボードに書きます。また、少しでもコミュニケーションを円滑にするため、手話を学ぶスタッフもいます。仲間同士では言葉の壁はなく、信頼関係があり、気持ちよく通じ合っているように感じます。その人に興味を持って何を伝えたいか真剣に向き合うことが大切だと思っています。



障害福祉サービス事業所  
松崎 吉信さん

サークルで  
手話を学びませんか  
手話サークル山びこ



聴覚障がいのある人も参加  
しています。まずは気軽に見  
学に来てください。  
初心者でも大歓迎です！

☎ 毎週

☎ 隔19時30分～20時50分

☎ 第5㊟・祝日

場市民総合センター1階「機能訓練室」

☎ 手話を学びたい方

☎ 詳しくは障害福祉室へお問  
い合わせいただくか、ホーム  
ページをご覧ください。

☎ [http://www.aikis.or.jp/~cacenter/dantai\\_syuwasa-kuruyamabiko.htm](http://www.aikis.or.jp/~cacenter/dantai_syuwasa-kuruyamabiko.htm)



## 様々なコミュニケーション

耳が聞こえない、聞こえにくい全ての人が手話を使えるとは限りません。また、手話ができなくてもコミュニケーションの方法は様々。その人の状態に合わせ、コミュニケーションに役立つ手が見つけましょう。

### 筆談



#### 紙に文章を書く方法

読み書きが苦手な人もいます。あいまいな表現、まわりくどい表現は避けて、言葉が短く、分かりやすい文章にしましょう。

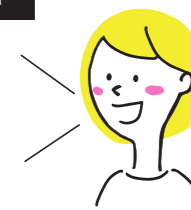
### 空書



#### 指で空間に書く方法

大きくゆっくりと、なるべく画数は少なくしましょう。テーブルや手のひらに書く方法もあります。

### 口話



#### 口の動きを読み取る方法

はっきり口を動かしながら、ゆっくりと話しましょう。補聴器を使用している人に大声を出すと、聞きづらくなることがあります。

### 災害時には助け合い！

警報やアナウンスは聞こえません。筆談で伝えたり、図やイラストを使って伝えましょう。

災害時や緊急時は、一人ひとりの協力が大切です。日頃からそれぞれの状況の人にどんな心づかいが必要なのかを知り、その時に自分は何ができるのかを考えましょう。

### 緊急時でも安心！



#### NET119

簡単なボタン操作と、チャットで会話することができる、119番通報サービス

### コミュニケーションボード

救急搬送された時に、指でさすだけで体の状態などを伝えることができるコミュニケーションボード

消防では、緊急時でも誰もが簡単に伝えることができるよう心掛けています。また、こちらから問いかけますので安心してください。





上達のコツ!

障害福祉室  
手話通訳士 森 文子

手話が上達するコツは、ろう者とたくさん手話で会話をすることです。手話は、相手がいれば成立するので、仲間と一緒に学習することも大切です。また、指がスムーズに動くように、お風呂でマッサージをすることがおすすめです。手話には「てにをは」がありません。誰が誰にという主語をはっきりと伝えるには、指さしが必要です。聞こえる人の世界では、人を指さすと不快に思われたりしますが、手話の世界では当たり前です。そのため、ろう者の世界・文化について学ぶことも大切です。

鳥のくちばしを表現!  
由来は闘鶏神社です。

田辺

親指と人差し指を開いた状態から、2回合わせます。



みかん

片手は指を丸めてくっつけて、もう片方の手でみかんの皮をむくように動かします。



昔、頭が痛い時に梅をこめかみに貼っていたことでこの表現に!

梅

親指・人差し指・中指をくっつけた状態で、口元にあててからこめかみにあてます。



和歌山県のホームページでは、様々な手話動画が掲載されています。  
□ <https://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/040400/oshirase/d00154875.html>



# 手話を使ってみよう!

覚えておきたい簡単な手話をご紹介します。  
田辺市手話奉仕員養成講座の受講生の皆さんにご協力いただきました!

おはよう  
こんにちわ  
こんばんわ...  
手の形は  
グー・チョキ・パー //

こんばんわ

手のひらを前に、前で左右から扇形に交差させます。



こんにちわ

人差し指と中指を立て、額にあてます。



おはよう

こぶしを作り、こめかみのあたりにあててから下ろします。



ごめんなさい

親指と人差し指で眉間をつまむようにつけ、離すと同時に手を広げ下ろします。



ありがとう

手の甲から反対の指を縦に垂直に上げます。



障害福祉室  
後 悠太

**みんなが理解と協力を**  
手話は、手話が必要とする人にとって、とても大切な言語です。私は、生まれつき耳が聞こえにくい状態で、小さい頃から手話を使っていました。周りの声や音が聞こえないというのは、様々な場面で困りごとがあります。  
職場では、呼ばれても分からないので肩をトントンとしてくれたり、電話がでけないので代わりに話を聞いて用件を伝えてもらったりしています。  
耳が聞こえない人と接するとき、手話をしなければいけないということではなく、「気遣い」が大切です。受け入れられていない、理解してもらえないと感じられることで、とても安心につながりません。  
どのくらい聞こえるかは人によって様々ですので、「聞こえない?」と思っただけで、その人の状態に合わせて、紙に文字を書いたり、身振り手振りでコミュニケーションを取ってみてください。

## 手話通訳者等を派遣します!

市では、聴覚障がいのある人とのコミュニケーション支援のため、手話通訳者・要約筆記者等を派遣しています。ぜひご活用ください。

公共機関や医療機関へ行くとき講演や会議、イベントを開催するときなどに



成人式でも手話通訳者が活躍!



□ <https://www.city.tanabe.lg.jp/shougai/fukushi/syuwatu/yakuhaken.html>

【聴覚、音声、言語機能などに障がいのある人、その人とコミュニケーションを取りたい人や団体】  
1か月前までに、障害福祉室へ申請書を提出してください。申請書は障害福祉室で配布するほか、ホームページにも掲載しています。一定の要件があります。詳しくは、障害福祉室へお問い合わせいただくか、ホームページをご覧ください。